



男女共同参画スタディーズ 2025

みんなで考えるジェンダーの基礎講座 “ないこと”にしない社会へ

ここ数年で「ジェンダー」という言葉を耳にすることが多くなりました。「ジェンダー」とは、社会的・文化的につくられた性差のことで、私たちの生活と大きく関わっています。この講座では、社会の中で“見えづらい”、もしくは“ない”とされてきた問題と、その背景にある「ジェンダー」について考えます。すべての人が性別に関わらず、自分らしく幸せに生きる事のできる社会にむけて。あなたにできる事をみつけてみませんか？

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です

第1回 6/1(日)

セクシュアルマイノリティの現実と 差別の構造

社会が想定する「性のふつう」からはじき出された人たちが抱えるたくさんの困難。誰もが大切に尊重されるために、差別が生じる構造や多様な性のあり方を知り、学びましょう。



武内 今日子さん
関西学院大学
社会学部 助教

専門は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ論。トランスジェンダーの経験や活動史を研究。著書に『非二元的な性を生きる：性的マイノリティの 카테고리運用史』（明石書店、2025年）など。

第2回 6/5(木)

戦後80年。戦争とジェンダーを考える

-著書『女も戦争を担った～昭和の証言』より-
女性はどうに戦争に向き合い、担ったのか。二度と戦争をしないため、未来を次世代に手渡すため、「過去」から学び、「今」なにをすべきか一緒に考えませんか？



川名 紀美さん
ジャーナリスト

70年朝日新聞社入社。学芸部、社会部を経て論説委員。社会福祉全般、高齢者や子ども、女性の問題等の分野の社説を担当。09年退社しフリージャーナリストに。著書多数。本書『女も～』は23年、40年ぶりに復刊。

第3回 6/10(火)

世帯のなかに隠れた女性の貧困

経済的DVに見られるような、世帯全体としては貧困ではないのに、一部の個人だけが著しく困窮している状態。顕在化しにくいこの問題の背景にあるジェンダーの構造をとらえます。



丸山 里美さん
京都大学 大学院
文学研究科 教授

大学院在籍時から、フィールドワークによって、女性ホームレスを対象に調査・研究。主な著書に『女性ホームレスとして生きる－貧困と排除の社会学』（世界思想社、2013年）。最近では女性の貧困、貧困とジェンダーの関わりについて研究。

第4回 6/13(金)

男性の性被害、その声を聴く社会へ

なぜ男性の性被害は認識されにくいのか？「声をあげても、誰も聴いてくれない…」未来を担う子どもたちが、そう思わない社会にするために、私たちに出来る事とは？



近藤 凜太郎さん
神戸学院大学・龍谷大学ほか
非常勤講師

専門は「ジェンダーと教育」研究、特にDV・性暴力防止教育に関連する政策と実践。認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべにて、デートDV防止授業の講師を務める。

時間 各回 10:00～12:00

参加費 無料 ※全4回 1回ごとの参加も可

定員 40人（予約優先／先着順） 一時保育 無料 10人（1歳～就学前まで。5/23(金)までに要申込）

申込み
問い合わせ

5月2日（金）9:00～ 電話、窓口、センターHPで受付

TEL 0797-86-4006



イベントページ

主催：場所 宝塚市立男女共同参画センター・エル 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

※申込にあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。 ※駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

